

「子会社決算業務支援」 説明資料

1. 連結決算を取り巻く環境・課題

貴社の連結決算業務はどのような課題をお抱えでしょうか。

弊社クライアント様からは以下のような課題を頂戴しております。

- ・決算早期化への対応のため、親会社連結担当者の残業時間が長い。
- ・子会社決算業務を少数の担当者に依存しているため、何かあったら不安。
- ・子会社から提出される連結パッケージの精度が低い。
- ・子会社ごとに決算伝票の計算過程にバラつきがあり、理解に時間を要する。
- ・特に新会計基準の部分で子会社決算の弱さが出る。
- ・買収した子会社の業務に不安がある。

上記のような課題を抱えている中、今後の不安としては以下のような意見を頂戴しています。

- ・さらなる決算早期化
- ・コンバージェンスへの対応
- ・IFRSへの対応

連結決算を取り巻く環境はますます厳しくなるという共通の認識をもたれているようです。

貴社の課題や今後の不安も同じものでしょうか。

2. ボトルネック

「弊社は決算早期化のボトルネックは子会社決算業務にあると考えます。

このボトルネックをどのように解消していけばよいのでしょうか？

- ・シェアードサービス会社を作る。
- ・システムを共通化する。

よくあげられる解決策はこの2つ、もしくは2つを組み合わせたものと思います。

ERPシステムを利用することで、随時計数が把握できる。

子会社にも共通のシステムを導入することで連結経営がより効果的となる。

シェアードサービス会社を作り、業務を集中させることで、精度を上げるとともに、管理費コストが圧縮できる。

利点はこのようなところでしょうか。

弊社は、システムを共通化させることも重要だとは思いますが、それを扱う「人」の教育が最も重要だと考えています。システムを変更しても扱うのは担当者一人一人です。高価な導入コストを払ってシステムの導入を行っても、ボトルネックは存在し続けます。

仮に、子会社の決算担当者が親会社担当者とほぼ同じ知識をもち、決算に当たっていたとしたら、冒頭のような課題は解消できませんか？

全く同じになっていただくことは、関係する業務領域などの差により無理でしょうし、そうすることは無駄にもなるかもしれません。しかし、少なくとも課題を認識されている親会社ご担当者様ご自身が子会社決算業務を行った場合と同程度の精度を実現した場合、弊社は冒頭の課題はほぼ解消され则认为しています。

ポイントは、子会社のご担当者様一人一人の

経理業務・決算業務に対する知識 と 作業の工夫

の2点になります。

3. 知識の向上と作業の工夫

経理業務・決算業務に対する知識の向上を図るためには、一人一人のご担当者様の努力が必要となります。親会社主体の新会計基準の説明、一般的なセミナー、専門学校のコース、書籍により、現在でも努力なさっていることでしょう。

その努力があるにも関わらず、現在ご認識の課題が生じるのはなぜでしょうか？

努力に割ける時間、意欲、理解度、応用力など。色々な要因が考えられるでしょう。

時間のかけ方は個人の意欲にも依存しますし、仕事の忙しさにも影響されるでしょう。意欲は給与体系などがもたらす側面もあるかもしれません。意欲や時間に応じて理解度は変化するでしょうし、応用力は個人に依存するものかもしれません。

しかし、決算業務の精度を上げることという目的からすれば、広範な知識を習得することは一義的には必要ではありません。

また、作業の工夫はすでになさっていると思いますが、課題を認識されているとすれば、改善余地はあると思います。

・子会社決算業務に関連する知識の向上

・決算早期化に対応できるための作業の工夫

を図り、その先に

・親会社の連結決算の観点からの決算説明の実施

ができる状態を目指すことが弊社コンサルティングの目的です。

そのための要点は非常にシンプルです。

お手本の提示 と 教育活動 になります。

連結パッケージに入力フォーマットはあります。入力するためのマニュアルもあります。それですべてがうまくいくのであれば、課題は存在しません。マニュアルやフォーマットを超えた指導が必要になります。そのためには、実務ではなかなか存在しない「お手本」を指導・教育しながら一緒に作成していくことが最も効果的です。

4. 業務支援メニュー

弊社では以下の業務支援メニューを提供いたしております。

①子会社決算業務改善支援

(メニュー)

- ・連結パッケージ作成を中心に決算業務を総合的に支援
- ・決算処理過程の標準化
- ・連結パッケージの確認作業を中心におき、弱い点を作業を伴い補足

連結パッケージ全般につき、親会社に提出する前に確認します。新会計基準など弱い点は作業を伴い補います。決算業務を支援していく過程で発見される工夫の余地ある項目を抽出し、改善を指導・助言いたします。弊社作業の結果、作業フォーム(お手本)が残るとともに、作業フォームを通じ実務に即した効率的な学習が可能となります。

②子会社決算業務代行支援

(メニュー)

- ・子会社ご担当者様に代わり決算業務を総合的に支援・代行
- ・決算処理過程の標準化
- ・引継ぎ業務

担当者の突然の退職など突発的な事象が生じた場合の支援メニューとなります。

③IFRS対応子会社決算業務支援

(メニュー)

- ・IFRS対応業務を総合的に支援
- ・IFRS対応業務の処理主体となる形で実行

子会社ご担当者様にこれ以上の負荷をかけず、2015年以降のIFRS適用時からスムーズにIFRSベース決算業務を実行できるように、総合的に支援いたします。対応業務を実行していく過程で実務に落とした教育活動を実施します。①と組み合わせることも可能です。

(その他メニュー)

- ・買収子会社決算業務支援
- ・内部統制変更助言、J-SOX対応合理化支援

5. 業務支援メニュー補足

各業務支援メニューは貴社と現在の課題につき、ディスカッションさせていただいた後、関与期間や関与度合いを決定いたします。

貴社が抱えられている連結業務の課題を共有させていただき、必要な項目にて業務支援を提供申し上げます。

親会社主導の種々のプロジェクトにおいて、子会社側の対応支援活動を実施した実績がございますので、親会社様とのリレーションはもちろんのこと、子会社ご担当者様とのリレーションもスムーズに構築できると自負しております。

弊社決算業務支援にご興味がお有りでしたら、お手数ですが、以下の連絡先までご一報頂戴できますでしょうか？ご訪問の上、業務支援のご説明を申し上げます。

連絡先

Tel:03-5928-5915

Mail:info@futurecreate.net (HPの「お問い合わせ」をクリック)

担当: 鶴巻、菊地、細野